

再評価結果（平成21年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：深澤 淳志

事業名	中国横断自動車道 姫路鳥取線 智頭～鳥取		事業区分	高速自動車 国道	事業主体	国土交通省 中国地方整備局
起終点	自：鳥取県八頭郡智頭町市ノ瀬 至：鳥取県鳥取市本高				延長	2.4 km
事業概要 中国横断自動車道姫路鳥取線は、兵庫県姫路市から鳥取県鳥取市に至る延長約8.6 kmの国土開発幹線自動車道であり、山陰圏域と山陽圏域を相互に連絡し産業・経済・文化の一体的な交流発展に資する路線である。						
H9年度事業化		H8年度 都市計画決定		H11年度用地着手		H13年度工事着手
全体事業費		約950億円		事業進捗率		88% 供用済延長
計画交通量		19,100～23,500台/日				
費用対効果 分析結果	B/C	総費用		総便益		基準年
	(事業全体)	1.9	(残事業)/ (事業全体) 67 / 1,058 億円 事業費：43/ 997億円 維持管理費：24/ 61億円		(残事業)/ (事業全体) 970 / 2,009 億円 走行時間短縮便益：697/1,477億円 走行経費減少便益：179/ 345億円 交通事故減少便益：94/ 187億円	
感度分析の結果 残事業についての感度分析を実施 交通量変動：B/C= 16.3 (交通量+10%) B/C= 12.8 (交通量-10%) 事業費変動：B/C= 13.0 (事業費+10%) B/C= 14.8 (事業費-10%)						
事業の効果等 ・国土・地域ネットワークの構築（鳥取県東部と山陽・京阪神の拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する） ・安全で安心できるくらしの確保（3次医療施設までの所要時間の短縮）						
						他15項目に該当
関係する地方公共団体等の意見 中国横断自動車道姫路鳥取線は、全国高速道路網に接続し、地域間の連携と交流を一体的に図るとともに、冬期・災害時における安定した輸送路としての機能が期待され、鳥取市をはじめとする沿線自治体の首長で構成される中国横断自動車道姫路鳥取線（佐用～鳥取間）建設促進期成同盟会より早期整備の要望を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 一般国道53号では、災害・事故による通行止めが発生している。また、姫路鳥取線の整備を見越して、沿線地域では工業団地の開発・分譲が進んでいる。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成19年度末の用地取得状況（99%）						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 今後も引き続き工事の推進を図り、早期全線供用を目指し事業を推進する。						
施設の構造や工法の変更等 道路幅員の変更による経費の削減、トンネルの土質の変更による掘削経費の削減、補助工法の見直し等によりコスト削減を図っている。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図 						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。